

牛の出荷

竹島

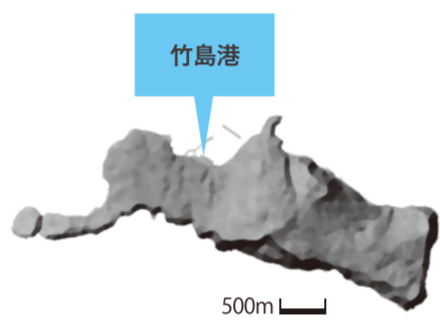
写真は牛を出荷する様子。三島村の畜産は大正末期から昭和初期の間にはじまる。長い歴史の中で牛の運び方も変化したが、はじめは泳がせて船へ。(右上写真はのみ大里港)次に縄をかけてクレーンで船へ。現在はケージに乗せて船に積む。黒島で始まった畜産は、戦前には各島で盛んになり、戦中戦後に壊滅しかける。しかし、県、村民の努力でもち直す。近年の大きな転機としては、一九八八年に「竹島畜産振興会」が子牛一〇頭を鹿児島中央家畜市場のセリに出荷した。それまでは買付け業者と島で庭先取引をしておりセリは初めて。関係者は金額がいつもの倍になって驚いたという。

思い出話

「買付けに来た業者は、商談が終わると、おもむろにポケットから札束をこっそり出してお金を払います。その姿はなかなかインパクトがありました。」

竹島地区出身
四〇代男性

3



日	月	火	水	木	金	土
24	25	26	27	28	1 旧 1/25	2 旧 1/26
3 旧 1/27	4 旧 1/28	5 旧 1/29	6 旧 1/30	7 旧 2/1 ● 新月	8 旧 2/2	9 旧 2/3
10 旧 2/4	11 旧 2/5	12 旧 2/6	13 旧 2/7	14 旧 2/8 ● 上弦	15 旧 2/9	16 旧 2/10
17 旧 2/11	18 旧 2/12	19 旧 2/13	20 旧 2/14	21 旧 2/15 ○ 満月 春分の日	22 旧 2/16	23 旧 2/17
24 旧 2/18 31 旧 2/25	25 旧 2/19	26 旧 2/20	27 旧 2/21	28 旧 2/22 ● 下弦	29 旧 2/23	30 旧 2/24